



オオニシ歯科 院長 大西 正治

岡山大学歯学部卒業。
岡山大学歯学部口腔外科学第二講座を経て、平成4年開業。
※日本顎咬合学会認定医
※お口の健康ネットワーク会員
※高度治療義歯研究会会員
※床矯正研究会会員

一生自分の歯で過ごすために ～歯周病を中心に～

専門 歯科

ゆえんです。 イレントデイズと呼ばれるところでは、プラークとアのかたまりです。歯の表面では、プラーク1mgにバクテリアが10億は付いています。汚れがひどい時にはバクテリアが1兆にもなると

歯槽膿漏撃退「つまようじ法」

つまようじを使う要領で歯と歯の間を磨くブラッシング法です。



現在約85%の成人がかかっているといわれている歯周病（歯槽膿漏）は、歯ぐきが赤く腫れるだけの病気ではありません。お口の中を不潔にしておく、歯についたプラーク（歯垢）が増殖していきます。まず歯ぐきが赤く腫れてきます。次に歯槽骨（歯のまわりの骨）が壊されて少しずつ溶けていきます。その時に血が出たり膿が出たりします。さらに歯槽骨が壊されていくと、歯の支えがなくなり歯がグラグラになり、最後には抜けてしまいます。

いわれています。歯周病がある部位にはバクテリアに対抗すべく白血球も1分間に100万もできてきますが、バクテリアの数に比べると少ないわけです。従って歯周病予防には、

- ① プラークコントロールをしっかりすること（バクテリアの数を少なくすること）
- ② 生活習慣を改善すること

歯ブラシを1日1回はきっちりすることです。忙しいとかできつちり歯ブラシ出来ない理由はあるでしょうが、バクテリアは言い訳を聞いてくれません。

③ 定期健診による経過観察（メンテナンス）

歯周病は細菌の感染症であり、活動期と静止期を繰り返しながら歯のまわりの組織を破壊していきます。痛みがなくなったからといって中断すると、次回はもっとひどい状態になる傾向があります。

歯は一生の友達
あなたの毎日の健康を守る
大切な協力者です

残念ながら歯をなくしてしまつた方々に対しては、インプラント（人工歯根）療法や高度治療義歯のようなものも現在では行われていますし、歯並びを治す矯正治療や、黄ばんだ歯へのホワイトニング治療、審美歯科治療等々「痛い、恐い、暗い」イメージから歯科医療も変わってきています。

残念ながら歯をなくしてしまつた方々に対しては、インプラント（人工歯根）療法や高度治療義歯のようなものも現在では行われていますし、歯並びを治す矯正治療や、黄ばんだ歯へのホワイトニング治療、審美歯科治療等々「痛い、恐い、暗い」イメージから歯科医療も変わってきています。

